

2 学年 5 組 数学科学習指導案

令和 3 年 1 月 2 1 日 (木) 第 2 時限 2 年 5 組教室

1 単元 箱ひげ図とデータの活用 (4 時間完了 本時 3 / 4)

2 本時の学習指導

(1) 本時の目標

- ① 箱ひげ図と他のグラフを用いてデータの分布を比較して読み取り, 多面的・批判的に考察し判断することができる。 (思考・判断・表現)
- ② 箱ひげ図と他のグラフを用いてデータの分布を比較して読み取り, 多様な視点で問題解決しようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

(2) 本時で意識する教科の見方・考え方

箱ひげ図や他の複数のグラフの集団のデータの傾向を比較して読みとり, 多様な視点から批判的に考察することで, 選択する根拠を明らかにする。【統合的な見方・考え方】

(3) 展開

段階	生徒の活動	教師の活動
つかむ 3分	1 総合学習の職業調べについて振り返る 2 本時の学習問題を確認する	・総合学習の授業において, 職業選択する基準には必ず「給料」が関わっていることに触れ, 学習問題につなげる。
もちよる 42分	3 課題について考える 4 課題について話し合う ・箱ひげ図だけ見ると, Aは最大値が最も大きいが, 年収の差も大きい。折れ線グラフを見ると, Aは年収が安定している。将来もこのまま安定していきそうだし, 頑張ればたくさんもらえそうだからAがよい。 ・Bの会社はできたばかりだから若い人も多く中央値が低く, 約半数が年収370万円以下であることが予想される。折れ線グラフを見ると年収が上がっており, Bの会社は発展していくと思われるのでBがよい。 ・中央値が一番高く, 四分位範囲も小さくて年収が安定している。2016年から年収は下がっているけど, まだ上がる可能性はあるからCのほうがよい。	<p>＜課題＞A, B, Cの3つの会社があり, 30人の年収を箱ひげ図で表した。また, 各会社の年収について折れ線グラフで表した。あなたは, どの会社に就職しようと思いますか。</p> <p>【発問】「データを分析し, どの会社に就職したいか理由もふくめて考えよう」</p> <p>・教師が生徒の考えを把握するために, 机間指導をしながら, 生徒の考えを座席表に書く。</p> <p>・<u>掲示した箱ひげ図と折れ線グラフの2つの資料を読み取って理由を記述している生徒を意図的に指名し, 発表した生徒を称賛する。</u></p>
ふりかえる 5分	6 本時を振り返り, わかったことや学んだことを記入し, 発表する ・最大値や最小値だけでなく四分位範囲や中央値など, さまざまな視点でデータを見ることが大切だとわかった。また, 複数のデータを集めることで, 総合的に判断することが大切だとわかった。	<p>・箱ひげ図などのデータを, 多様な視点から多面的・批判的に考察することの大切さに気づくために, 本時の学びを見直す時間を設ける。</p> <p>・データの一部分をみて根拠とするのではなく, 多様な視点から批判的に考察することのよさを確認できるように, データの見方について言及している生徒を意図的に指名する。</p>

(4) 評価

- ① 話し合いや振り返りの中で, データの分布を比較して読み取ったことを根拠にして, どの会社に就職したいか考察・表現することができたか。 (3, 4, 5のようすやノートから)
- ② 複数のデータを比較して意欲的にデータの傾向について読み取り, どの会社に就職したいか考察することができたか。 (3, 4, 5のようすやノートから)